



上から • 第二地階平面圖。
第三地階平面圖。
第四地階平面圖。

都市美協會主催

大東京建築祭

さきに道路舗装の普及を祝賀し、其愛護と禮讃とを目的として東京市道路祭を催し、道路の美化を大いに促進するところあつた都市美協會では、今度、都市美構成の王座を占むる建築物に關し、建築美増進並に建築文化普及の目的から大東京建築祭を舉行する。

催しの主なるものを擧げれば、設計及寫眞の懸賞募集、建築文化展覽會、ラヂオ放送、記念出版、また百貨店飾窓裝飾、銀座街頭裝飾、將來の新宿に就ての座談會などもある。而して懸賞募集の設計は銀座通を將來共同建築として改造する假定のもとに、或一廓に就ての計畫を要求したもの、同じく寫眞は大東京の建築をモチーフとしたもので、共に建築文化展覽會に發表陳列される筈である。

建築文化展覽會はモデル・ルーム其他の方法により、住宅、材料、設備、家具並に一般設計資料等を陳列する。ラヂオでは六月八日に佐野利器博士が放送し、記念出版は「建築の東京」と題する菊倍判の書籍で、建築の萬般、衛生、電氣等の諸設備に至るまで夫々斯界の權威者が執筆し、大正年代以降の各種建築を種類別に配列し、建築主、設計及施工者、面積、階數、構造、竣工年月日を併記した一大建築畫報と大東京設計事務所、請負業者名、材料業者等の名鑑を附したものである。

大正大震災を楔機として異常な發展を遂げた東京の建築は此企てによつて一應清算され更に將來に向つての大なる指針が與へられるであらう。尙催しの期日は次の通り。

建築祭 六月八日 東京市日比谷公會堂
佐藤功一博士の講演、舞踊、映畫。
映畫は新に製作された「建築の東京」も封切される筈。

展覽會 六月十三日より八日間、日本橋の三越本店にて開催。